

テンバガー社長3つの力

創・究・己— 株高導く77人の共通点

社長在任期間中の株価上昇率ランキング

	社長	株価上昇率	在任期間	特徴	
1	北の達人(2930)	木下勝寿	113.7倍	8.4年	健康食品販売
2	エムスリー(2413)	谷村格	85.6	16.0	製薬会社のマーケティング支援
3	レーザーテック(6920)	岡林理	78.9	11.2	半導体関連装置
4	ジーエヌアイ(2160)	イン・ルオ	72.4	12.1	遺伝子解析
5	CTS(4345)	横島泰蔵	61.8	17.4	建設ICT専門企業
6	トリケミカル(4369)	太附聖	56.0	6.4	半導体用化学薬品製造
7	エイジア(2352)	美濃和男	46.0	11.4	ソフト開発
8	神戸物産(3038)	沼田博和	45.6	8.6	業務スーパーを展開
9	ディップ(2379)	富田英揮	45.2	10.4	求人広告サイト
10	朝日インテック(7747)	宮田昌彦	37.5	11.0	医療用器具製造
11	GMO-PG(3769)	相浦一成	34.7	7.8	カード決済代行
12	デジアーツ(2326)	道具登志夫	33.9	18.0	閲覧制限ソフト開発
13	モノタロウ(3064)	鈴木雅哉	32.9	8.5	工具・工場用品通販
14	IRジャパン(6035)	寺下史郎	32.0	5.6	企業の株主対応支援
15	ベネワン(2412)	白石徳生	30.6	16.0	福利厚生代行
16	日本M&A(2127)	三宅卓	30.3	12.3	M&A仲介
17	JCRファ(4552)	芦田信	27.0	13.3	ホルモン製剤主力
18	日本エスコ(8892)	伊藤貴俊	25.6	9.5	マンション開発
19	トランザク(7818)	石川諭	24.8	9.9	雑貨製造販売
20	三谷セキ(5273)	三谷進治	24.7	18.8	コンクリート製品製造
21	ジェイエイチ(2124)	松園健	24.1	9.7	人材紹介
22	フジオフード(2752)	藤尾政弘	23.8	17.8	食堂経営
23	丸和運機関(9090)	和佐見勝	22.5	6.4	小売り向け物流一括受託
24	ヒノキヤG(1413)	近藤昭	22.5	11.4	注文住宅
25	ドーン(2303)	宮崎正伸	21.2	10.9	GISソフト開発
26	Jマテリアル(6055)	田中久男	21.1	8.8	特殊ガス関連が主力
27	リログループ(8876)	中村謙一	21.0	9.9	転勤留守宅の賃貸管理大手
28	リブワーク(1431)	瀬口力	20.7	5.1	住宅施工
29	アドソル日進(3837)	上田富三	20.6	10.4	独立系ソフト開発の老舗
30	寿スピリッツ(2222)	河越誠剛	19.5	25.9	菓子製造販売

新型コロナウイルスの感染拡大が続き、世界経済が混乱するなか、株式市場では企業トップの経営戦略や手腕が、技術力や財務力と同様に投資の判断材料となっている。日経ヴェリタス編集部はその「社長力」を測るため、日本の上場企業約3800社を対象に、現任の社長が就任して以来の株価上昇率をランキングした。

株価10倍以上となった「テンバガー」社長77人の実力を分析したところ「創造力」、「究める力」、「己が所有する力」の3つの共通項が浮かび上がってきた。

株価上昇率 113倍で1位、北の達人コーポレーション（2930）の木下勝寿社長は「生活者の悩みを解決する商品」を作るという考えからスタートし、針で美容成分を肌に入れる化粧品などを伸ばしてきた。木下社長は「市場が大きくても、いい物ができなければ発売しない」と話す。また、同じ利益なら売り上げはより少ない方がリスクは低いというユニークな考えも追究する。「売り上げが多いと、サプライチェーンに問題が起きる可能性があったり、固定費も高くなったりするのでリスクが高い」と言い切る。

■ランキング作成方法 上場企業を対象に、日経NEEDSの社長名と就任年月日のデータを使って、社長就任月末、または就任時に上場していない場合は上場月末の株価を起点に10月7日までの株価騰落率を計算した。株価はQUICKで株式分割・併合を考慮。社長が会長を兼務したり、会長兼務を外れたり、会社形態を変えたりすると、データベース上の社長の就任年月日とその都度更新されるが、その就任年月日データを用いて算出した。例えば、ソフトバンクグループの孫正義氏は会長を兼務した2017年6月末の株価を起点に計算したため株価上昇率は53%となり、今回の集計ではテンバガー社長から漏れたが、上場月末値の1994年7月と比べた場合は34.9倍になる。